

性の多様性について 考えてみよう

あなたの周りにも、悩んでいる人がいるかもしれません。



身体の性と心の性

自分の性をどのように感じているかを「心の性」といいます。「身体の性」と「心の性」が同じ人もいますが、違う人もいます。「身体の性」は男性だけれど「心の性」は女性だと感じている人も、「身体の性」は女性だけれど、「心の性」は男性だと感じている人もいます。自分は男性と女性のどちらとも決めないという人も、男性と女性、どちらも自分だと感じる人もいます。

好きになる性

どのような性別の人を好きになるかもさまざまです。女性を好きになる女性も、男性を好きになる男性もいます。どちらの性別の人も好きになる人もいれば、好きにならない人もいます。表現する性(服装やふるまい等)も人によって違います。

多様なあり方

それは自然な感情であり、自分の意志で決めるものではありません。「気づく」場合もあります。

どれが正しい、どれが間違っているということではなく、どんな形もその人らしさを表していて、人権として大切なものです。みんな大切な一人ひとりなのです。



例えば、この生徒は身体の性は男性、心の性は女性、好きになる性は男性、表現する性(服装やふるまい等)はどちらかという女性、という性のありようです。それぞれ、グラデーションようになっていて、特定の枠にはまるものではありません。性は、一般に思われている以上に多様なものなのです。

	男性	女性
①身体の性	★	
②心の性		★
③好きになる性	★	
④表現する性		★

もし、他の人と少し違っているという理由で、からかわれたり、嫌な思いをしていることがあれば、一人で悩まず、信頼している人に相談してください。

もし、あなたが友達からLGBTQ(＊)であることを打ち明けられたら、どうすればいいでしょうか？

相手は勇気を出して打ち明けています。相手の言葉にきちんと耳を傾け、支えていく姿勢を伝えましょう。

あなたが、ひとりで抱えられなくて、誰かに相談すべき内容だと思っても不用意に他の人に話すのではなく、必ず本人に確認して了承をとってください。いつ、誰に伝えるかは本人が決めることであって周りの人が決めることではないのです。

性の多様性を理由に差別したり排除されたりすることなく、誰もがそれぞれの人の生き方を尊重することが大切です。

(＊)LGBTQの言葉の意味は？

性的指向 どのような性別の人を好きになるか。
性自認 自分の性別をどのように認識(心の性)するか。

- L** レズビアン(Lesbian)、女性を好きになる女性
- G** ゲイ(Gay)、男性を好きになる男性
- B** バイセクシャル(Bisexual)、好きになる人の性別にこだわらない人
- T** トランスジェンダー(Transgender)、身体の性と心の性が一致せず、違和感(性別違和)を持っている人
- Q** クエスチョニング(Questioning)、自身の性を明確に定義していない人

- ・LGBTQは、この頭文字を取った言葉です。これ以外にもさまざまなあり方があり、性的マイノリティ(性的少数者)という言葉も使われます。
- ・好きになる性(Sexual Orientation)、心の性(Gender Identity)、表現する性(Expression)という3つを組み合わせたSOGIE(ソジー)という言い方もあります。



	男性	女性
①身体の性		★
②心の性		★
③好きになる性		★
④表現する性		★